

福祉

上田市長

自殺については「きづく」「つなぐ」「みまもる」をポイントに「わたしは、ほっとけない。」運動を展開しています。

やはり冬になると気持ちが落ち込みますが、雪かきの運動や雪まつりなど雪と親しみ、共生するという生き方、日照時間が少ない分、自分たちが努力して社会全体を明るくしていこうというのが札幌のまちではないかなと思っています。

中村さん

精神科医の仕事をしています。札幌は冬の日照時間が短いため、冬季うつ病の発症率が高く、自殺にもつながると考えられています。

冬季うつ病対策で最も大切なことは日照不足を補うことです。例えば、高い照度の照明器具（右写真）を公共施設に設置するなど、札幌独自のうつ病、自殺予防への対策を提案します。



なかむら

観



工藤さん

札幌市のキャッチコピーを作ってはどうでしょうか。私が考えてきたのは「ほっと雪まち」です。「雪」は絶対に欠かせないキーワードで「ほっと」の部分に、温かい人情味の部分と熱い観光スポットだぞという思いを込めてみました。

上田市長

とてもすてきなお話ですね。札幌市でもいろいろ考えております。今のキャッチフレーズは「サッポロスマイル」です。笑顔は世界共通ということで、人を温かくお迎えする笑顔のまちというモチーフで作りしました。これからじわじわと広がればいいなとPRを進めているところです。



▲サッポロスマイルのロゴマーク

光

上田市長

それぞれの人にとってここが一番というところを持つのが大事だと考えています。僕が薦めるとすれば道庁赤レンガです。皆さんは、赤レンガの方を見て景色が良いと言いますが、その道庁を背にして東側を眺めた空の広がりや素晴らしいです。これだけの大都市で空があのようにきれいに見えるのは、他にないと思います。

加納さん

札幌市の魅力を伝える場所として、時計台や赤レンガもいいのですが、もっと身近にはないものか、またそれを知る機会がないものかと感じています。※この発言から参加者の皆さんに中央区の見どころについて語っていただきました（他の皆さんのおススメは下記をご覧ください）。



中央区のおススメ

藻岩山展望台（大森さん）

年間パスポートがとてもお得。何回乗っても2千800円。リスもフクロウも見ることができますよ。

知事公館（堂領さん）

近隣の保育所の子どもたちが居て、子どもたちを見ながら季節も楽しめるという感じです。

豊平川ウォーターガーデン（工藤さん）

水の方で遊ぶ遊具があって大人でも楽しめます。

創成川公園（中村さん）

交通量が多い道路に挟まれていながら自然を感じ

られるというのは札幌の魅力の一つだと思います。

伏見稲荷神社（笹木さん）

藻岩山麓通から赤い鳥居がわっと並んでいるのはとてもきれいです。すごくほっとする場所です。

中島公園（田岡さん）

すごく広くて一日いっぱい居ても飽きません。都心でこれだけの自然があるのはとても魅力的です。

札幌の夜景（岸中央区長）

藻岩山、旭山記念公園、大倉山ジャンプ競技場から見る札幌の夜景は本当に素晴らしいです。

沖館葉子さん

フリーパーソナリティー。中央区ふらっとホームの司会を前身のタウントークから通算6回担当。

司会の沖館さんから

今年の対話者の皆さんもすてきな方たちでした。さすが、緊張してますと言いつつしっかりとご自分の考えを市長に伝えていただきました。いろいろな意見をいただきましたが、この場に限らず、普段から自分の意見を持ちつつ、家族や職場など周りの人と話し合いを持つことが大切だと思っています。



記事に関するお問い合わせ

総務企画課広聴係 ☎205-3216  
FAX231-6539

「ふらっとホーム」に関するお問い合わせ

市長政策室市民の声を聞く課 ☎211-2045  
FAX218-5165